

令和3年度 第4回丹波市男女共同参画審議会会議録（要旨）

日 時：令和4年2月28日（月）午後1時15分開会～午後3時30分閉会
場 所：氷上住民センター 実習室
出席委員：中里英樹会長、北村久美子副会長、足立篤夫委員、植野さやか委員、大木玲子委員、
荻野圭裕委員、小谷菜絵委員、村上幸子委員、足立敏行委員、中村衣里委員、足立
美樹委員、中川ミミ委員
欠席委員：北尾真理子委員、山本伸雄委員、足立佳菜子委員
事務局：丹波市：まちづくり部長、人権啓発センター所長、人権啓発センター副所長、
人権啓発センター男女共同参画推進係長、人権啓発センター職員
株式会社名豊
傍聴人：なし

報 告：（1）丹波市男女共同参画市民意識調査及び事業所調査の結果について

協 議：（1）第4次丹波市男女共同参画計画策定にかかる市民ワークショップ等の結果について
（2）第4次丹波市男女共同参画計画等に向けた課題・方向性について
（3）第4次丹波市男女共同参画計画策定に向けた協議
※意見交換（グループワーク）、結果共有
（4）その他

資 料：【資料1】丹波市男女共同参画市民意識調査結果報告書（確定版）
【資料2】丹波市男女共同参画事業所調査結果報告書（確定版）
【資料3】市民ワークショップの結果について（概要版）
【資料4】市民ワークショップ報告書（本冊）
【資料5】地域・男女共同参画推進団体へのヒアリング結果について（概要版）
【資料6】地域・男女共同参画推進団体へのヒアリング報告書（本冊）
【資料7-1】丹波市男女共同参画計画にかかる課題・方向性について
【資料7-2】丹波市男女共同参画計画課題整理シート

1 開会

- ・開会あいさつ
- ・委員15名中12名の出席により、会議が成立していることを確認（審議会運営規則第3条第2項）
- ・資料確認

2 会長あいさつ

皆様、お忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。

ウクライナ情勢の影響で、世界の状況が大変なことになっているが、男女共同参画推進も、これからの社会においては必要になってくるものなので、審議会で多くのご意見をいただければと考えている。

本日は多くの資料があり、市民の皆さん、市内の事業所からの声がたくさん盛り込まれている。特に自由記述などは市民の率直なご意見がわかる資料になっていると思うので、本日のディスカッションではそちらを参考にしながら、委員の皆さんそれぞれが関わっている組織や、身の回りの状況について意見をお聞かせいただき、これから策定する計画に反映していきたいと思う。本日もよろしくお願い申し上げます。

【会議公開・非公開の決定について】

審議にあたっては、特段個人情報が特定されることはないため、公開とする。また、議論を進めていく中で個人が特定されるような内容となった場合には、非公開とする旨を確認する。

3 報告

(1) 丹波市男女共同参画市民意識調査及び事業所調査の結果について

事務局より、資料1・資料2に基づき説明

学校教育における性教育の実施状況について（口頭説明）

【意見要旨】

会長

資料1、70ページのグラフについて、年代を区切る線が入っているところと入っていないところがあるが、これは何か意図があるのか。

事務局

前回の資料ではすべて点線をつけていたが、今回差し替えた際に一部点線が抜けた。点線を入れるように修正する。

4 議事

(1) 第4次丹波市男女共同参画計画策定にかかる市民ワークショップ等の結果について

事務局より、資料3・資料4・資料5・資料6に基づき説明

(2) 第4次丹波市男女共同参画計画等に向けた課題・方向性について

事務局より、資料7-1・資料7-2に基づき説明

会長

これから意見交換を行うにあたり、グループ分け等について事務局から提案をお願いする。

事務局

追加資料として配布した【資料8】を確認いただきたい。

グループ1については中里会長に進行をお願いし、足立篤夫委員、足立敏行委員、植野さやか委員、大木玲子委員、中川ミミ委員にお入りいただき、グループ2については、北村副会長に進行をお願いし、足立美樹委員、荻野圭裕委員、小谷菜絵委員、中村衣里委員、村上幸子委員にお入りいただきたいと思っている。

資料には、第3次丹波市男女共同参画計画の進捗状況や、昨年10月に実施したアンケート調

査、1月に実施した市民ワークショップ、ヒアリング等の調査結果等をふまえ、意見交換をしていただくためのキーワードを記載している。

例えば、グループ1では、「女性（男性）活躍」「ワーク・ライフ・バランス」「男性の育児休業」「地域社会における男女共同参画推進」といったこと、グループ2では、「困難を抱えた女性の支援」「男女共同参画教育の充実」「DV・ハラスメント防止」といったものを挙げている。また、2グループ共通のキーワードとして、「意識改革」「性別役割分担意識の解消」「男女共同参画センターの今後の運営」などを挙げている。第4次丹波市男女共同参画計画に盛り込むべき方向性などについても、意見を出していただきたい。あわせて、「今後の丹波市が5年後、10年後を目指して、どういった所に力を入れなければいけないか」ということについてもご意見をいただきたいと思っている。意見交換には事務局の職員と策定支援業者もそれぞれのグループに参加させていただく。

グループで意見交換を行った後に、会長・副会長より、それぞれの意見内容について発表いただく予定である。参加していないグループの発表に対しご意見があるかもしれないので、それぞれのグループの発表後に、ご意見をいただく時間を設けたいと思っている。

（3）第4次丹波市男女共同参画計画策定に向けた協議

2つのグループに分かれ意見交換（グループワーク）

※意見交換（グループワーク）終了後、全員で結果共有

グループ1 協議内容発表【要旨】

会長

「ワーク・ライフ・バランス」というキーワードに関して、新しい働き方、生き方が生まれてきているので、それらを踏まえて考えていく必要がある。その一方で、急速に進めると軋轢が生じ、真っ向から反対する意見も出ると思われるので、少しずつ理解し合いながら進めていくことが必要であるという意見が出た。

また、婦人会の参加者が減っていることから、その背景や解決策を考えるべきという具体的な課題も出てきた。その中で、地域を維持していく、具体的には農村を維持していくために、男女を問わずそれらの役割を担える仕組みをつくれないう案が提示された。しかし、この案に対しては、仕事や子育てもある中で、新たに何かをやらなければいけないとなっても、時間が確保できないという実情がある、という意見が出た。

このような状況により、婦人会の参加者が少なくなったり解散したりしていったが、今までの婦人会の形ではなく、例えば、お年寄りのサポートをするといった新しい目的を持ち、一度は解散したが自発的に集まり、その活動が広まる、ということが起きてきている。このような新しい動きを、新たな仕組みの始まりのひとつと評価することもできるのではないかという実態解釈も出された。

そして、職場の中での具体例として、女性自身が「これは女性にはできない」と思い込んでいる場合があるが、「あの人（女性）はできないと拒否した」とそのままにするのではなく、「このようにすればどうか」といった解決策を提案できるつなぎ役になる人がいると、「やれないと思っていたことができるようになった」「工夫をすれば女性でもできると意識を変えることができた」という事例の紹介もあった。制度と組織と意識の重要性に加えて、つなぎ役となる人の重要性も

あるのではないかというまとめをしていただいた。

また、これからの地域をつくっていくために、子育て環境を整えるということが重要になってくるが、子ども達の施設や学校が統合されるなど、身近な子どもたちのための組織が、効率性だけでまとめられ、無くなっていくことが、本当によい方向性なのかという疑問が提示された。

以上であるが、グループ1に参加された方で、補足があればお願いします。(グループ1に参加の委員より補足なし)

グループ2に参加された方で、問題提起やこのような解決策があるのではないかというご意見があればお願いします。(グループ2に参加の委員より意見なし)

グループ2 協議内容発表【要旨】

副会長

大変多くの意見をいただいた。キーワードが「困難を抱えた女性の支援」「男女共同参画教育の充実」「DV・ハラスメント防止」で、それに関する活動をされている面々であったので、とても熱心な意見交換になった。

結果から言うと、DVやハラスメントに関しては、今までは女性が被害者になることが多かったが、男性の被害者が増えてきているという、数字的な問題は変わってきているが、課題や方向性、やらなければいけないことは、最初の丹波市男女共同参画計画から、ほとんど変わっていないということであった。現行の男女共同参画計画で、課題はほとんど網羅されているので、これからどのように実行していくか、ということ話を話し合っていた。

協議の中で「無知の罪」という話をされた委員がありとても心に響いたが、「困難を抱えた女性の支援」に関して、支援策はたくさんあるが、本当に困っている人に届いていない、知らないというのが実態である。

「男女共同参画に係る教育の充実」に関しては、教育現場は男女共生であるが、一步社会に出ると男女の差がかなりある。

「DV・ハラスメント防止」に関しては、何がDVで何がハラスメントであるかも知らない方が多いと思われるので、どのように知らせていくのか、どこがどのようなことをやっていくのかということを男女共同参画計画の中に位置づけ、深掘りし、実行していくのが男女共同参画センターの役割であるという話になった。

全てを男女共同参画センターで担うことはできないので、まずはどこで何ができるのか。市民意識の結果によると、ハーモニープランや男女共同参画推進条例は知らないが、ジェンダー・DV・LGBTなど、メディアがよく取り上げる言葉の認知度は高いことがわかるので、例えば、「ジェンダー平等はどのようになっているのか」といったインパクトのあるチラシを出すなど、受け手の感覚に寄り添った広報の仕方がよいのではないかと、という提案のほか、実にいろいろなアイデアが出た。

また役割分担に関しても、誰が何をするかということをきちんと考え、ハードルを低くソフトにして、それを推進する人材を育成することに注力すれば、その方たちが地域に散らばっていくことで意識の底上げができるのではないかと話があった。

男女共同参画審議会委員の皆さんは、住民としてとても意識が高く、がんばって取り組んでいかなければならないと思っておられるが、私たち委員だけでは状況が変わっていかない。なので、学校や自治会、企業などにおいて何ができるか、ということ、具体的に話していくきっかけ

けがあればよいのではないかという話になった。

会長

グループ2に参加された方で、補足があればお願いします。(グループ2に参加の委員より補足なし)

グループ1に参加された方で、問題提起やこのような解決策があるのではないかというご意見があればお願いします。(グループ1に参加の委員より意見なし)

本日の2つのグループの意見は、ぜひ計画素案に盛り込んでいきたい。

グループ2の発表で「ハードルを下げて」という意見があったが、「全く理解するつもりがない」と思われる方に、どのように理解していただくかという点も、工夫をこらす必要があると思われるし、グループ1では、事務局から「男は仕事、女は家庭」の固定的な役割分担について賛成が減らないという問題提起があったが、自分に直接関係がないことにはあまり関心が向かない傾向にあるのではないかという意見があったので、いかに自分事としてもらうかということも含めて、「つないでいく戦略」が重要だということを改めて感じた。

(4) その他

委員

資料5、1頁、「①団体について」で「自主協議会」とあるが、「自治協議会」に訂正をお願いします。また、前回の審議会においてヤングケアラーの実態について質問をした。確認して今回の審議会で報告するとのことであったが、確認できたか。

事務局

丹波市におけるヤングケアラーの詳細な数値は把握できていない状況である。

委員

本当に困っている子どものために、この計画の中に反映させていただきたいと思う。

事務局

ヤングケアラーの問題は、社会問題となっている。丹波市では、人権推進に取り組んでいただくため、各自治会において学習会の実施をお願いしており、毎年、兵庫県人権啓発協会が作製する学習用DVDを紹介している。来年度のDVDは「ヤングケアラー」がテーマである。丹波市としては来年度予算でDVDを購入し、各自治会でヤングケアラーについて学習をしていただきたいと考えている。

会長

資料2、14頁、問7「貴事業所では育児休業制度・介護休業制度を就業規則に規定していますか。また規定がある場合に、今までに休業制度等の利用実績もあるかお答えください。」に関して、分析では、「利用実績については「女性従業員」の割合が49.3%、「男性従業員」の割合が13.4%」とあるが、これは育児休業制度・介護休業制度が「規定あり」と回答した企業における

割合である。国などが示している全企業における取得率と誤解される可能性があるので、書き方について検討していただきたい。

また、3頁「1. 育児休業制度」の「育児休業制度の規定がある事業所は、88.1%で約9割となっていますが、規定がない事業所が約1割あります。制度の利用実績については、女性従業員49.3%に対し、男性従業員13.4%となり、性別で大きな差があります。」という文言も同様である。

事務局

ご指摘いただいた点については、会長と相談させていただき、修正する。

会長

事務局より連絡をお願いしたい。

事務局

次回審議会は、第4次男女共同参画計画の全体の構成についてご審議いただきたいと思っている。開催時期は4月下旬頃を予定している。

5 閉会

会長

本日予定されていた議事はこれで終了する。それでは、副会長からあいさつをお願いする。

副会長

グループワークでは、皆さんから沢山の意見を出していただいた。本日とは別の組み合わせのメンバーで、このような意見交換の機会をまた設けていただければ嬉しく思う。

本日欠席の委員から「自分が自分らしく生きられたらよいですね」という素敵なメッセージをいただいた。これから、自分が自分らしく生きられるような、男女共同参画計画を作っていけたらよいと思う。長時間お疲れ様でした。